



# 愛と創造

山形市立第十中学校

学校だより

H28.10.21 NO.6

## 十中生の学力・学習状況について

今年4月に、全国の小6年、中3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。この調査の目的は、

- ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上のため
- ②教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するため
- ③児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に活用するため、となっています。調査の内容は、「国語A」・「数学A」（主として知識に関する問題）、「国語B」・「数学B」（主として活用に関する問題）、生徒の学習状況等に関する質問です。

なお、この調査で測定できる「学力」とは、上記2教科の学力全体の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることを付け加えておきます。

十中では調査の目的をうけ、教科（国語・数学）や校務部（学習指導・生徒指導・健康安全指導）、学年部等で、結果についての分析し、そこから見えてきた成果と課題、これから課題解決に向けて取り組むことを検討しました。

十中では昨年の結果を受け、すべての授業で「つけたい力」の明確化、「他者との学び合い」がある授業の工夫、「見通し」と「振り返り」の3つの視点を意識した授業づくりを目指し、実践してきました。今年度の結果から取り組んだことについては一定の成果が見られるものの、仲間と協働して課題を解決することなどをさらに強く意識した授業づくりが必要であることの認識を共有しました。

## 十中生の良さとして

- 自己肯定感（自尊感情）が高いこと
- 思いやりの心が育まれていること
- 地域などでボランティア活動に参加していること
- 基本的な生活習慣（起床時間や就寝時間がほぼ決まっていることや朝食を毎日食べているなど）が定着していること、などがあげられます。

昨年度は、地域の行事に参加していると思っている生徒の割合が低かったのですが、JRC委員会を立ち上げ、地域からの要請に主体的に参加するボランティア方式に移行したことなどで大きく改善されました。

一方で、学校全体でソーシャルスキルトレーニングに取り組んでいる中ですが、自分の考えを伝え、人とかかわっていくことの大切さを理解しそのスキルを身に着けていくことがまだ十分ではないことがわかってきました。

今後も十中生の良さを十分に伸ばし、課題を改善する教育活動を実践していきたいと思います。ご意見などがございましたら12月に実施する学校アンケートなどでお知らせください。